

体育の約束

併修生用・秋季生用
単位制による通信制

本校の体育のスクーリング（授業）は、他の教科と同様にレポートの提出（R）と、スクーリングの出席（S）、テスト（T）で構成されています。

体育は実技科目ですから、特にスクーリング重視です。

（S）スクーリングは、半年間4回、計8時間開講されます。単位が認定されるには、最低5時間以上の出席が必要です。

（R）レポートは半年間2通、期限内に提出すること。

（T）テストは半年間1回、ペーパーテストを行います。

本校の体育は、年齢差・体力差など様々な人たちが一緒になってスクーリングを展開します。自由な雰囲気の中でも最低限のマナーは守り、スクーリングが円滑に行われるように協力しあってください。集団の機能を乱す行為は特に慎みましょう。

そこで、体育の授業を受けるにあたって、その心構えや、注意してもらいたいことをいくつか述べますので、よく理解して参加して下さい。

三つのK



- 1, 決意
- 2, 計画
- 3, 継続

体育スクーリングにおける『5つの約束』

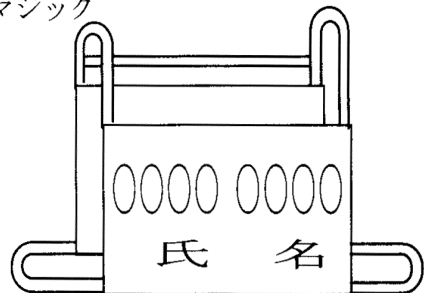
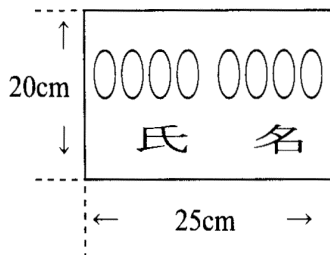
- 1, 欠席をしない。
- 2, 遅刻・見学をしない。
- 3, 忘れ物をしない。
- 4, 運動に適した身なり。
- 5, 何事も一生懸命頑張る。

ゼッケンの作り方

（材料）

- ①白い布 ②平ゴム ③縫い糸 ④黒い油性マジック

前・後同様



背後側に横ゴムをつける。
大きな字で書くこと！！

1, 出席・履修条件

- ①遅刻をしないこと。どんな理由でも10分以上遅刻した場合は、出席を認めない。
10分以内の遅刻も評価の対象となるので、時間は守ること。
- ②1回の体育のスクーリングは分割して1時間ずつの出席はできない。
- ③1日のうち、2単位時間を超えて出席することはできない。

2, 見学者の扱い

- ①身体の事情により見学する場合には、その都度指導者に申し出ること。
見学は、2時間のスクーリングにおいて1時間の出席が認められる。
その日のスクーリング内容を「見学報告書」に記入・提出する。
- ②見学者は、スクーリング実施場所の近くで技術指導を学習するばかりでなく、スクーリングの展開に積極的に協力すること。スクーリング内容を「見学報告書」に記入・提出する。その見学の態度や報告書によっては、見学者として認めないことがある。

3, 体育実技の服装・携行品

- ① 指定の運動着はないが、収縮性のある運動に適したジャージ、スウェットを用意する。(レギンス不可)
- ② シューズは屋内・屋外の両方を用意する。特に指定はないが、ソールの厚いトレッキングシューズ等はフロアを痛めるので不可。
- ③ゼッケンは必ず着用すること！(左図参照)
上段に**学籍番号**、下段に**氏名**を記入すること。

4, 更衣・貴重品について

- ①更衣は体育館の更衣室で済ませ、荷物・貴重品は活動場所へ持っていく。
盗難防止のため更衣室内には置かないこと。

5, 装飾品について

- ①運動にふさわしくない装飾品はつけない。自他共に危険がともなうので、マナーとして、事前にはずすこと。(ピアス・ネックレス・時計等)

6, 体育館の使用について

- ①体育館は体育館専用シューズをはくこと。
- ②体育館フロアー、更衣室にての飲食は禁止。
- ③スクーリング終了ごとにモップで清掃する。